

日 程：2010 年 6 月 9 日 (水) ~11 日 (金) ※プログラムは 5 ページ以降にあります。

会 場：長崎ブリックホール (長崎県長崎市) <http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/brick/>

2010 年度人工知能学会(第 24 回)全国大会 JSAI 2010 を上記のとおり開催いたします。人工知能や関連分野の最新動向がわかる一般口頭発表, AI レクチャ, 招待講演, 基調講演に加え, 会員からの提案によるさまざまな「近未来チャレンジ」セッション, オーガナイズドセッションを予定しております。なお, 詳しくは, 上記全国大会の Web サイトをご覧ください。

参加費：論文集 (CD-ROM)代金込みです。発表参加者は, 2010 年 5 月 20 日 (木) までにご入金ください。

なお, 下記の表のように, 非会員の方は人工知能学会へ入会されることにより大幅なディスカウントがあります。この機会に, ぜひ入会をお勧めいたします。

人工知能学会への入会手続きは, http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/info/member_join.html からできます。

	会 員 (不課税)		非会員 (税込)	
	正会員 ^{*2}	学生会員	一 般	学 生
参加費	9,000 円	4,500 円	19,000 円	8,500 円
発表費 ^{*1}	3,000 円	3,000 円	5,000 円	5,000 円

*1 発表参加者の方は参加費+発表費を合わせてお支払いください。2 件目からの発表は発表件数分お支払いください。

*2 賛助会員を含む。

問合せ先：〒162-0821 東京都新宿区津久戸町 4-7 OS ビル 402

「2010 年度人工知能学会全国大会 (第 24 回) JSAI 2010 事務局」 Tel. 03-5261-3401

次回予告：2011 年度人工知能学会全国大会 (第 25 回) は 6 月上旬の (水~金) 盛岡市で開催します。

論文特集「実践 AI システム論文」

論文募集

学術論文の査読は, 新規性, 有用性, 信頼性などの観点から行われるが, 伝統的な査読基準では, 要素技術の新規性を重視する傾向があった。しかし近年, AI 技術を活用したシステムの人・組織・社会での存在感が急速に大きくなりつつあることを考えれば, そうしたシステムのインテリジェンスに関わる多様な側面に新規性を認め評価するための査読基準が必要になってきたといえる。こうした狙いから当学会では 2008 年 11 月に論文誌の新たな特集企画として「システム開発論文特集」(Vol. 23, No. 6) を実施したところ, 19 件の投稿をいただき, うち 11 件が採録・掲載となった。そしてその一つは論文賞を受賞するなど本特集の意義はすでに高く評価されつつある。

一方で, 前回のシステム開発論文というタイトルは投稿者にスコープをやや狭く感じさせる嫌いがあるとの指摘もあったため, 今回は「実践 AI システム論文」と改めて継続し, 論文査読基準にも若干の変更を行う。本特集論文における査読基準としては, 会員がほかの事例に展開可能な議論を含み, なおかつ人工知能学会としてオーソライズする意義のある, インテリジェンスに関わる実践的なシステムについての多様な知識やノウハウであることを採録条件とする。これに限るわけではないが, その具体的な新規性のカテゴリーとしては, 以下を含む。

1. 問題に即した既存技術の有効な使い方
2. 既存技術の有用な組合せ方
3. 有用なツールの開発
4. 面白いアプリケーションの開発
5. 既存技術の効果的な実現法
6. AI システムが有効に働く環境の分析
7. 技術内容を含むビジネス価値・開発コストの評価
8. AI システムの開発・運用におけるノウハウの体系化
9. その他の本特集の主旨に適合する新規性

一方で、伝統的な査読基準では、有用性、信頼性の面から実験結果などに基づく客観的な評価が求められるが、実践 AI システムではそれを完全に満たすことが困難な場合も少なくない。そこで、十分に客観的な評価結果を提示できない正当な理由が存在し、なおかつ提案するしくみから得られる作用や効果が論理的に矛盾のない形で主張されているならば、評価が定性的であっても採録するという査読基準をとる。

以上のように本論文特集では、実践 AI システムに関する幅広いトピックに関わる論文を募集するので、ご理解のうえで多くの論文投稿を期待したい。

●投稿論文の形式

論文執筆、投稿に当たっては、<http://www.ai-gakkai.or.jp/jsai/journal/> の人工知能学会学会誌・論文誌への投稿に関する案内を熟読ください。原則、人工知能学会 TeX スタイルファイルでの投稿になりますが、word をご希望の方は別途問い合わせください。本特集号の採録期日に間に合わない論文は、一般投稿として扱われることがあります。

本特集では「5.2『投稿通知』」に記した投稿原稿として、原著論文と速報論文を受け付けます。また、投稿時の e-mail メール本文において、投稿論文で主張しようとしている（一つ以上）新規性カテゴリーの番号を記し、新規性主張の主な論点を示す 300 文字程度の説明文を「新規性ポイントの説明」として付記ください。

情報関係英文論文合同アーカイブ Information and Media Technologies (IMT) への転載について：採択された英文論文は、人工知能学会論文誌に採択された英文論文は編集委員会の選定により IMT へ転載することがあります。著者に費用の負担はありません。IMT についての詳細は次の URL をご参照ください。 <http://www.ipsj.or.jp/08edit/imt/index-j.htm>

●論文送付／照会先：実践 AI システム論文特集号編集委員会宛 ai-system@ai-gakkai.or.jp

●本論文特集号のスケジュール

投稿締切： 2010 年 7 月 25 日
第 1 次査読結果： 2010 年 10 月 8 日
改訂版投稿締切： 2011 年 1 月 2 日
第 2 次査読結果： 2011 年 2 月 3 日
改訂版投稿締切： 2011 年 3 月 28 日
第 3 次査読結果： 2011 年 4 月 28 日
論文掲載決定： 2011 年 5 月 19 日
最終原稿提出： 2011 年 6 月 30 日
掲載予定： 2011 年 9 月号

●メンタリング制度

新たに導入するメンタリング制度は、企業などに所属し論文の投稿および査読についての経験やノウハウが少ない投稿者（メンティ）に対し、経験豊富なシニア編集委員（メンター）を紹介し、メンターが基本的に遠隔コミュニケーション（メールなど）により投稿論文が採録基準を満たせるよう指導・支援する制度です（採録を保障するわけではありません）。本制度は、最初の査読結果の送付時に、当編集員が本制度の実施が適切と判断した投稿者に希望を伺い、投稿者が希望した場合に限り適用されます。

●編集委員体制

編集委員長：山川 宏 編集幹事：竹内広宜、森田千絵 編集幹事補佐：森田武史
編集委員：柏原昭博、櫻井祐子、堤富士雄、松田勝志、山岡孝行、吉岡真治、山口高平

研究会の「新規登録」、「変更」、「取消」の手続きについては人工知能学会ホームページの「2010年度研究会登録申込用紙」をプリントしてご利用ください。

第2種研究会は自主的な活動が主体となりますので、発表申込み、登録、登録料払込み、その他問合せなどすべてを各研究会の主査、幹事が直接取り扱います。

研究会の詳細については各研究会の URL を、研究発表の申込みおよび研究会の登録などについてはそれぞれ<Ⅰ. 2010年度研究会の発表募集のお知らせ>および<Ⅱ. 2010年度研究会の《新規登録》および《登録変更》のお知らせ>をご覧ください。

第2種研究会は自主的な活動が主体となりますので、発表申込み、登録、登録料払込み、その他問合せなどすべて同研究会の主査、幹事が直接取り扱いますので、<Ⅲ. 《第2種研究会》のご案内>をご覧ください。

Ⅰ. 2010年度研究会の発表募集のお知らせ

◎発表申込みについて：発表申込、発表時間は各研究会の開催案内をご覧ください。原稿はA4判で、原則6枚以内（超過した場合には追加原稿2枚を限度とし、1枚につき2,000円の超過料金をいただきます）で、締切は各研究会開催日の25日前必着です（原稿が締切までに到着しない場合は、申込みの演題のみ掲載します）。なお、発表を申し込んで原稿が締切に間に合わない場合、当日プロジェクタなどを用いての発表も可能ですが、特許法第30条の適用はありませんのでご注意ください。

◇申込み方法：該当する研究会の担当者に E-mail にてお申し込みください。ただし、連絡者は、原則として研究会登録の会員を指定してください。

◇参加費：会員、非会員に関係なく無料

◇資料：希望者に1冊1,500円で販売（ただし、学生参加者には無料で配布）

◇別刷：希望者に下記料金にて販売（ただし、原稿2枚超過ごとに1,000円増）。原稿6枚の場合、30部で9,000円、50部で10,000円

◇資料の受渡し：開催前に送付します。

◎ 特色、開催予定などは各研究会のホームページをご覧ください。

Ⅱ. 2010年度研究会の《新規登録》および《登録変更》のお知らせ

研究会にはどなたでも自由に参加できます。登録会員は当該研究会への参加は無料です。

前年度から継続して登録される研究会については申込み不要ですが、登録の取消し、追加などの変更、および新規登録をご希望の方は、下記のとおりご連絡またはお申し込みください。

◇登録資格：個人会員および特殊購読会員

◇登録申込：申込用紙に氏名、会員番号、申込み研究会名をご記入のうえ、事務局宛に郵送または FAX でお送りください。なお、関心ある分野については、現在興味をおもちの分野をご記入ください。

◇登録料：1研究会につき、4,000円/年です。銀行または郵便局の振込用紙に、氏名、会員番号、申込み研究会名を記入のうえ、所定金額をお振込みください。登録料は、原則として前納となっています。

◇登録料払込先：郵便振替口座 00150-6-193586（社）人工知能学会

銀行振込口座 みずほ銀行飯田橋支店 普通 1668449（社）人工知能学会

Ⅲ. <第2種研究会>のご案内

注) 第2種研究会は自主的な活動を行っており、発表申込み、研究会登録、登録料払込み、その他の問合せなどのすべてを各研究会の主査、幹事が直接担当しております。

ロボットに使える最新画像処理

主催：日本ロボット学会
 期日：2010年5月21日(金)
 会場：東京大学本郷キャンパス
 連絡先：学会事務局
 Tel. 03-3812-7594
 m.ma2ra@rsj.or.jp
<http://www.rsj.or.jp/events/index.html>

第9回 ITS シンポジウム 2010

主催：ITS Japan
 期日：2010年12月10日(金)～11日(土)
 会場：京都大学 百周年時計台記念館
 連絡先：ITS Japan 井出晴子
 Tel. 03-5777-1013
 h-ide@its-jp.org
http://www.its-jp.org/topics/topics_symposium.htm

ヒューマンインタフェースシンポジウム 2010

主催：ヒューマンインタフェース学会
 期日：2010年9月7日(火)～10日(金)
 会場：立命館びわこ・くさつキャンパス
 連絡先：学会事務局
 Tel. 075-315-8475
 his-symp@his.gr.jp
<http://www.his.gr.jp/>

自動車の安全とエコとそのセンシング

主催：センシング技術応用研究会
 期日：2010年6月4日(金)
 会場：大阪市中央公会堂
 連絡先：研究会事務局
 Tel. 0725-51-2534
 sakitaniguti@tri.pref.osaka.jp
<http://www.tri.pref.osaka.jp/dantai/sstj>

学会だより

◇第245回 理事会報告

日時 2010年2月26日(金)
 場所 キャンパス・イノベーションセンター2F

出席者 堀浩一会長, 西田豊明副会長, 住田一男副会長
 理事：石川, 小野田, 折原, 栗原, 桜井, 杉村,
 中岩, 那須川, 野田, 間瀬, 森, 山川,
 山口, 山田
 監事：末田直道, 浦本直彦
 (理事出席者：17名<定足数14名>理事会成立)

<議題>

- ・前回理事会議事録の確認
- ・新規入会および退会について
 個人会員の入会状況, 退会リストが説明され, 承認された。
 正会員 2,572 学生会員 412
 賛助会員 32
- ・編集委員会 ・企画委員会 ・全国大会委員会
- ・研究集会審議委員会 ・研究会運営委員会
- ・財務委員会 ・総務委員会

◇第246回 理事会報告

日時 2010年3月26日(金)
 場所 キャンパス・イノベーションセンター2F

出席者 堀浩一会長, 西田豊明副会長, 住田一男副会長
 理事：石川, 折原, 栗原, 桜井, 中岩, 那須川,
 野田, 間瀬, 森, 山川, 山口, 山田
 監事：末田直道, 浦本直彦
 委任状 理事：小野田
 (委任状を含む理事出席者：16名<定足数14名>理事会成立)

<議題>

- ・前回理事会議事録の確認
- ・新規入会および退会について
 個人会員の入会状況, 退会リストが説明され, 承認された。
 正会員 2,574 学生会員 415
 賛助会員 32
- ・編集委員会 ・企画委員会 ・全国大会委員会
- ・研究集会審議委員会 ・研究会運営委員会
- ・財務委員会 ・総務委員会